

令和 7 年度

国有林野事業の実行に係わる
請負事業体等の死亡災害報告
(概 況)

<林 野 庁 集 計>

令和7年5月30日現在

区 分	生 産	造 林	林 道	治 山	その他	立 販	樹木採取権	計
本 年 度 累 計			2			1		3
前年度同期累計						1		1
前 年 度 計	3					5		8

※ 森林整備事業の活用型や誘導伐に関連する災害は生産事業に分類している。

1 森林管理局・署等名	中部森林管理局 岐阜森林管理署
2 事 業 の 種 類	林道事業（建設機械借上）
3 災 害 発 生 日 時 等	令和7年5月15日(木) 14時39分頃発生 （死亡：令和7年5月15日 死因：外傷性血気胸）
4 災 害 発 生 場 所	岐阜県下呂市小坂町大洞 大洞国有林 若栃榎谷林道（下）
5 契 約 相 手 方	岐阜県下呂市萩原町萩原 1500 番地 金子工業株式会社 代表取締役社長 金子 健一郎
6 事業実行事業体	同上
7 被 災 者 年 齢 等	年齢：65 歳 性別：男性 雇用区分：臨時雇 社会保険等加入状況：－
8 従 事 作 業	ホイールローダーによる崩土除去作業
9 災 害 の 概 況	当日被災者は、ホイールローダオペレーター（被災者）、写真管理兼交代オペレーター（同僚）の2名体制で作業に従事していた。 被災者は、当日の作業を終了し昼の休憩をとった後、翌日に別の林道の崩土除去作業を予定していたため、ホイールローダーを当該林道の入口付近へ回送し、同僚は通勤車両（ハイラックス）にて追従していた。 14:39 頃、同僚は、被災箇所（若栃榎谷林道(下)起点より 3,850m 付近）のカーブ付近で被災者が運転するホイールローダーが前後しているのが見えたことから、約 30m 後方で待機した。待機場所からは、カーブで見通しが悪かったことや、谷側のかん木なども障害となり作業全体を見通すことはできなかったが、林道にあった崩土の除去作業を行っている様子であった。ホイールローダーが、同僚の視界から見えなくなってから間もなく、大きな音が聞こえたため現場に近寄って見たところ、

	ホイールローダーと被災者が川に転落しているのを発見（高低差約 13m、勾配 50 度）。法面を下りて被災者を川から引き上げた。被災者は、目立った出血はないものの、運転席から投げ出され、うつ伏せの状態で頭部が川に入っており、意識はない状況だった（当該ホイールローダーにはシートベルトの装備はないものであった。）。 14:50 頃、同僚は、携帯電話の通話が可能な位置まで移動し、金子工業株式会社（以下、会社という。）へ連絡し、その後すぐに救急車の要請をした。 14:55 頃、同僚から連絡を受けた会社の社員より、岐阜森林管理署へ災害発生の連絡を行った。 15:00 頃、会社社員 4 名が事故現場に向かったが、現地までは救助車両の邪魔になるとの判断から現地手前の林道にて待機。 15:35 頃、救急車が災害現場に到着。救急隊員の判断で、ヘリコプターを要請。 15:50 頃、救急のヘリコプターが現地上空に向かう様子を、待機場所にいた社員 4 名が確認。 17:00 頃、救急のヘリコプターが現地上空より病院へ向かう様子を、待機場所にいた社員 4 名が確認。（待機場所より担架がヘリから下りてくる様子と被災者をピックアップしている様子が見えた。） 17:40 頃、消防署より被災者が下呂温泉病院に搬送されたとの連絡が会社があり、被災者の妻と会社社長が病院に向かう。 18:10 頃、被災者の妻、会社社長が病院に到着。 18:40 頃、病院にて処置を行ったが、被災者が亡くなった旨、被災者の妻より病院にいた会社社長に伝えられた。 【以下、災害発生状況の推定】 転落現場の状況から、被災者は、回送中、路面に残った崩土を路肩に寄せた後、ホイールローダーをバックさせた際に何らかの理由で操縦を誤り、路肩からホイールローダーと共に転落したと推定される。ホイールローダーは、シートベルトが装備されていないものであり、被災者は、転落の衝撃によってホイールローダーから投げ出されたものと思われる。
10 そ の 他	

災害発生箇所位置図 縮尺1/100,000

(岐阜県下呂市小坂町大洞) 若栃榎谷林道 (下)

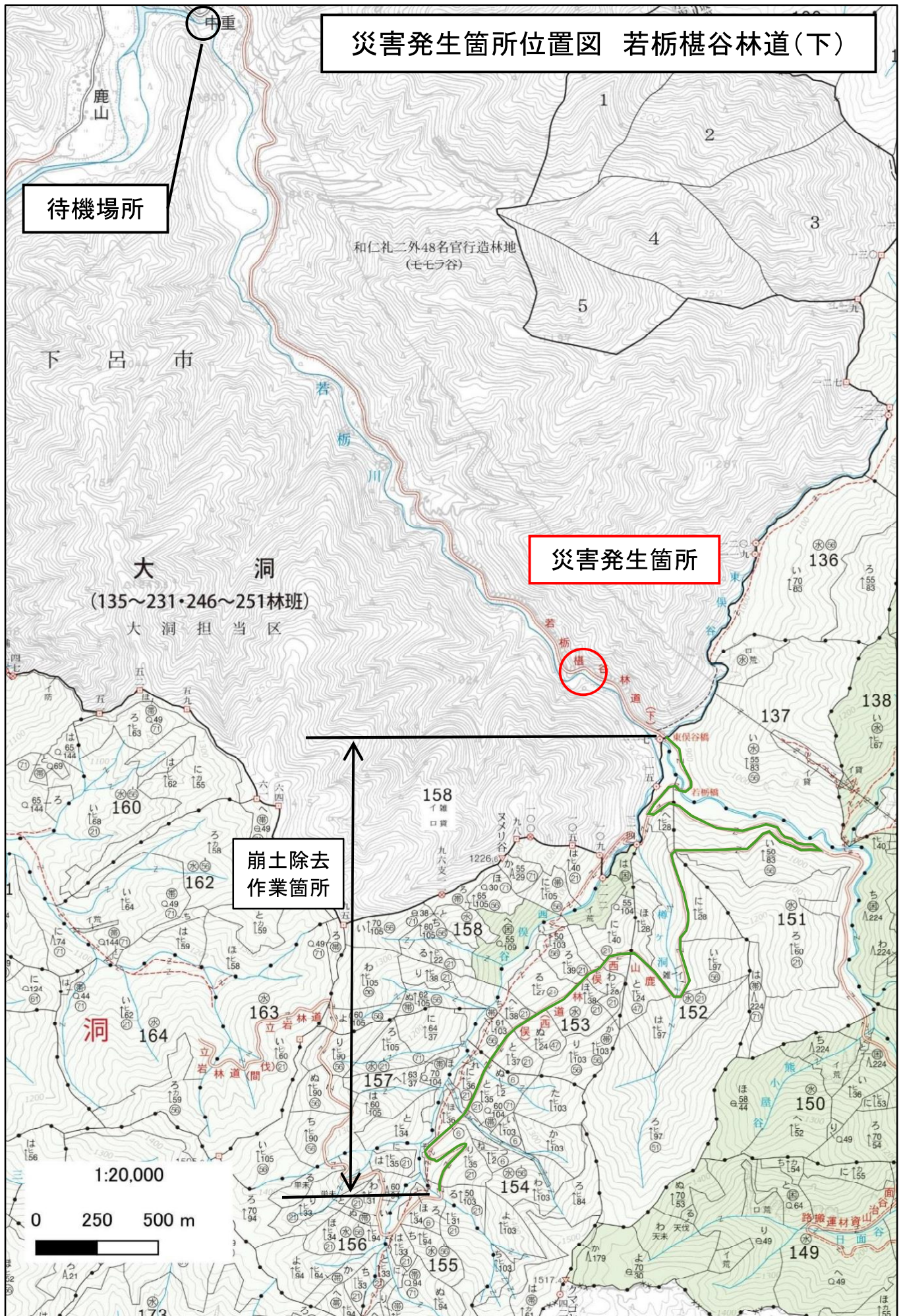


災害発生箇所位置図 若栃榎谷林道(下)

待機場所

災害発生箇所

崩土除去
作業箇所



災害発生箇所位置図 若栃榎谷林道(下)

災害発生箇所

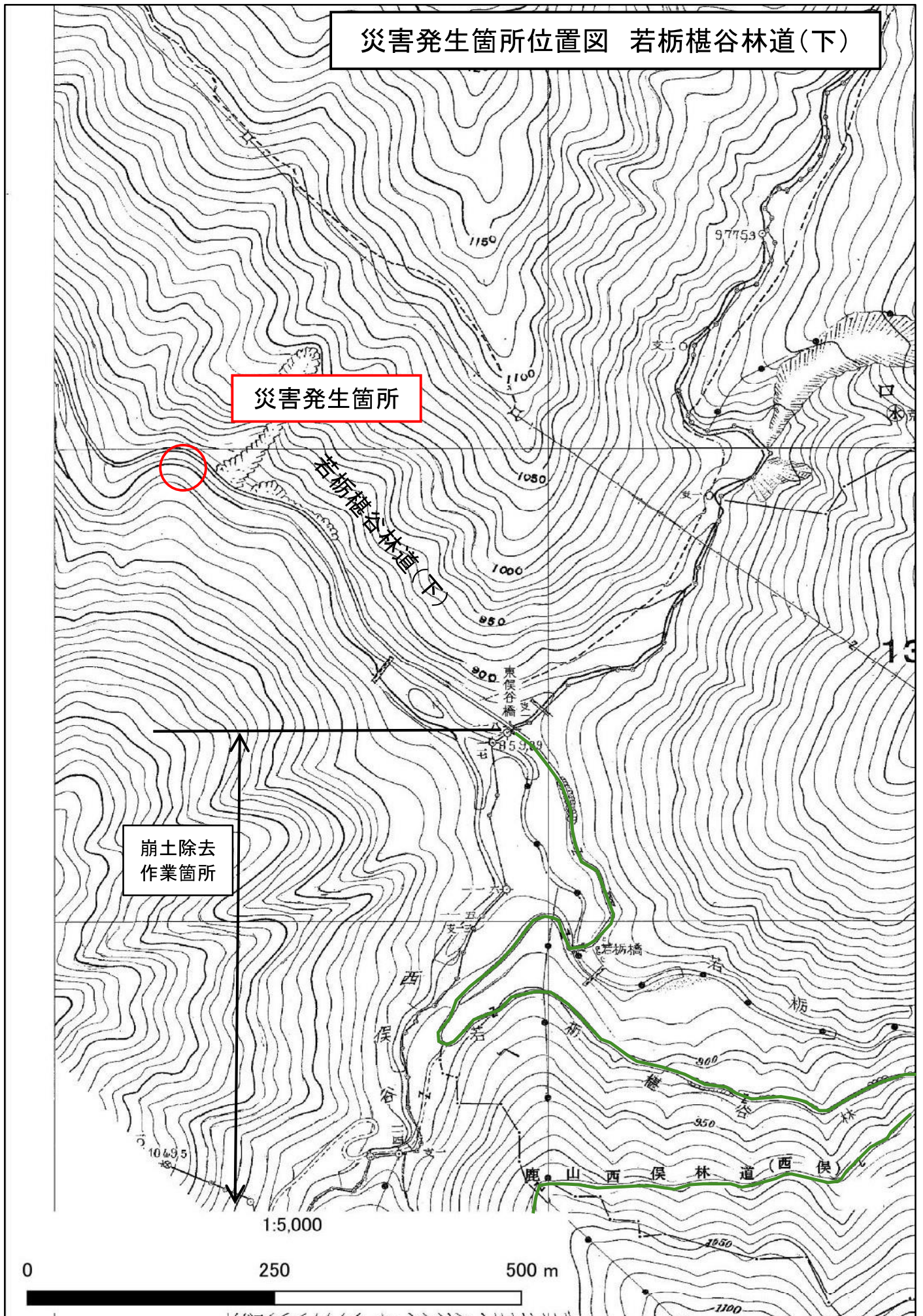
崩土除去
作業箇所

1:5,000

0

250

500 m



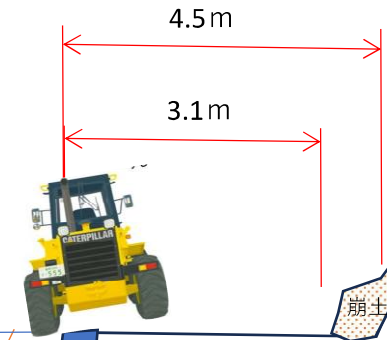
災害発生箇所 見取り図

若栃榎谷林道（下）



【断面図】

ホイールローダーが脱輪
バランスを崩して転落したと思われる。



擁壁高さ
約4.0m

高低差
約13m

勾配 50°

川

被災者

被災者はうつ伏せで倒れており
頭部が川に入っていた

災害発生箇所 状況写真 (1)

若栃榎谷林道 (下)

林道下部より



林道上部より



災害発生箇所 状況写真 (2)

若栃榎谷林道 (下)



後進時に左側後輪が脱輪し
バランスを崩してホイールローダーが
転落したと思われる。



災害発生箇所 状況写真 (3)

若栃榎谷林道 (下)

【平面図】

